

はじめに

通常、地下鉄の計画等の大型公共事業では土木設計、建築設計、サイン設計、設備設計等が個別に進められるため、調整段階での手戻りが増え、ともすればちぐはぐな空間が現出することにもなる。福岡市地下鉄3号線のデザイン・設計プロジェクトでは開業の10年前から対象デザイン領域を俯瞰し、同一のコンセプトに基づいたデザイン設計を進めた。本報告はプロジェクトにおけるトータルデザインの手法と有効性について述べるものである。

1 開業10年前に始まったデザインプロジェクト

福岡市地下鉄3号線の計画は、1971年の福岡市都市交通審議会での必要性と新設が答申され、1992年にルートと構造形式が決定された。ベッドタウン

福岡市地下鉄3号線の計画推移

71	都市交通審議会「新設」を答申
72	
73	
74	
75	
76	
77	
78	
79	
1980	
81	
82	
83	
84	
85	
86	
87	
88	福岡市総合計画に掲載
89	
1990	
91	
92	ルート、構造形式基本案決定
93	
94	国予算案決定、駅位置等決定
95	トータルデザイン業務開始
96	地下鉄3号線建設着工(土木躯体)
97	
98	
99	
2000	
01	薬院西駅建築工事着工
02	引き続き各駅建築工事着工
03	
04	
05	開業予定

として発展する福岡市西南部から都心部へ、慢性的な渋滞に悩まされるバスやマイカーに替わる通勤・通学のための高速輸送サービスが目的である。

本プロジェクトはそれから3年後の1995年にスタートし10年という長い時間をかけてさまざまなデザインについての検討を進めた。

2 トータルデザインの対象領域

3号線のデザインにあたり福岡市は、すでに高い評価を得ている1・2号線のデザインを凌ぐしかりとしたデザインを施したいという思いはあったが、計画全体を串刺しにする横断的なデザイン管理の発想はなかった。そこで、交通局の職員や(社)日本サインデザイン協会から交通施設の専門家が集う勉強会が催された。勉強会では駅舎や車両だけで

トータルデザインの推進組織

関連事業者 および 評価機構	事業者 福岡市交通局 施設計画課 車両課 電気計画課 営業課	デザイン検討委員会 学識経験者 造形家 デザイナー コピーライター 市都市整備局長 市交通事業管理者
システム デザイン 開発	プランニング デザインチーム SDA部会 建築D サインD プロダクトD グラフィックD ランドスケープD	ワーキングチーム (基本設計チーム) ジーエータップ 建築D サインD プロダクトD グラフィックD ランドスケープD
実施図作成	実施設計チーム 建築設計事務所 サイン設計事務所	メーカー デザインチーム 設備メーカー 車両メーカー ホームゲート メーカー エレベータ メーカー